1 埼玉県の河川

県内の一級河川

河川法による河川には、一級河川、二級河川、準用河川があり、県内には二級水系がないため、二級河川はありません。一級水系の管理は国と県で役割分担して行っています。これら以外の準用河川及び普通河川※の管理は市町村が行っています。

※一級河川、二級河川、準用河川以外の河川

県内の一級河川 － 河川数162河川、延長1,736km、流域面積3,799k㎡

うち国管理河川 － 河川数 25河川、延長　324km（利根川、荒川、江戸川など）

県管理河川 － 河川数151河川、延長1,412km（元荒川、入間川、中川など）

河川の特徴

内陸県である本県の河川は、県内において海へ到達できないため、多くの合流を繰り返しながら下流都県に流下します。



県内の一級河川の合流点数

147箇所

荒川が海へ到達するまでに合流する県内の一級河川数

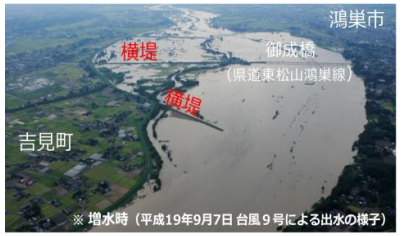
96河川(支川含む)

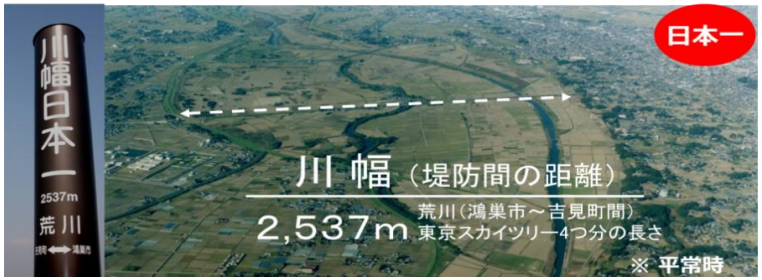
川幅 日本一

鴻巣市と吉見町付近の荒川の幅は日本一です。

川幅を広く、横堤を設置することで、洪水の一部を一時的に滞留させ、下流での被害を最小限に防ぎます。

また、横堤は堤防を流れから遠ざけることで保護する役割も果たします。







川の歳時記

本県は古くから「水とのかかわり」が強く、川に祈り、川を祀る行祭事が県内各地で行われています。

月	行事名	場所	概　　要
1月～2月	三十槌の氷柱	秩父市	荒川に染みだす水が凍りだし、幅員約30m、高さ約8mの自然の氷柱が出現。
4月	新河岸川観光舟運	川越市	春一日限りで花見舟が運行され、川舟に乗って川面に映える桜を眺めることができる。
7月	秩父川瀬祭	秩父市	秩父神社300年以上の伝統を持つお祭り。荒川に大神輿を持ち込み、あらゆる災厄を流しさる。
	夏越祭	久喜市	川岸で雅楽演奏や舞が行われ、船上から形代を流す形代流しが古式にのっとり行われる。
	大杉神社のあばれ神輿	熊谷市	大杉神社夏祭りの一環として行われる。利根川に入り、神輿の上で猛者達が揉み合う様は実に勇壮。
8月	寄居玉淀水天宮祭	寄居町	鉢形城跡から打ち上げられる花火と川面に浮かぶ舟山車の数百の提灯や雪洞の競演。
	古利根川流灯まつり	杉戸町	日本一の大きな灯ろう260基が光の帯となって川面を埋め尽くす。


三十槌の氷柱（秩父市）


新河岸川観光舟運（川越市）


寄居玉淀水天宮祭（寄居町）


古利根川流灯まつり（杉戸町）